

患者の皆様へ

2021年12月1日

呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の血栓症における血漿中のフィブリンモノマー複合体(FMC)と血中 D-dimer の臨床的意義についての検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では COVID-19 の診断を受け、当施設で入院による治療を受けた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「COVID-19 症例の血栓症における血漿中のフィブリンモノマー複合体(FMC)と血中 D-dimer の臨床的意義についての検討」

2. 研究の意義・目的

COVID-19 において血栓症の合併やそれに伴う死亡例が報告されています。血栓の評価は重要ですが、以前から血栓の指標として使用されている血中 D-dimer は悪性腫瘍や他の炎症により偽陽性となることがあります。本研究では血栓症の指標といわれている血漿 FMC 濃度が COVID-19 において血栓症の発症、抗凝固療法の使用、炎症反応とどのような関連があるか明らかにすることで FMC の臨床的有用性を検証します。

3. 参照するカルテの対象期間

2020年12月1日から2021年12月31日

4. 研究の方法

COVID-19 と診断され、当院で入院による治療を受けた方を対象としています。年齢、性別、重症度、併存症、治療、血液検査所見、抗凝固療法など血栓に対する治療内容/経過などを、カルテから取り出し、集計、検討を行います。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科研究室、千葉大学医学部附属

病院呼吸器内科の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 外部への情報の提供

本研究で得られた個人情報について外部への情報の提供は予定していません。

6. 研究組織

- (1) 千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター
特任助教 笠井 大
- (2) 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科
医師 川目 千晶

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器内科, 総合医療教育研修センター
医学教育研究室
医師 笠井 大
043(222)7171 内線 71014

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科

研究代表者 : 笠井 大